

令和 4年10月19日

多賀城市議会議長 殿

会派等名 自由民主党多賀城市議団

代表者名 森 長一郎

### 調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

#### 記

#### 1 報告者（参加者）

- |              |            |
|--------------|------------|
| (1) 代表 森 長一郎 | (5) 鈴木 新津男 |
| (2) 吉田 瑞生    | (6) 佐藤 雅博  |
| (3) 雨森 修一    | (7)        |
| (4) 米澤 まき子   | (8)        |

#### 2 調査研究の概要

□調査期間：令和 4年10月15日（土）～令和 4年10月17日（月）

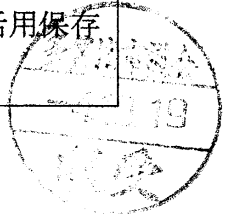
□調査目的：2年後に多賀城創建1300年を迎える本市において開催が予定されている記念事業に対して実効性のある提案を行う為。

□調査手法：視察調査

□行程又は日程：添付行程表のとおり

□調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
15日（土） 17:30～19:30	鳥取県鳥取市 令和の万葉大茶会	①万葉文化に関わりの深い関係市町村の取組や大会の開催状況の現地調査
16日（日）	鳥取県鳥取市 因幡国庁跡 因幡万葉歴史館 奈良県奈良市 奈良国立博物館	①大友家持に所縁のある歴史・文化施設等の現地調査 ②文化財に係るガイダンス施設の現地調査 ③文化財に係るガイダンス施設の現地調査
17日（月） 09:00～11:30	聖武天皇陵 光明皇后陵 春日大社	①大友家持に所縁のある歴史遺産の現地調査 ②友好都市における文化財・施設等の活用保存の現地調査



□調査資料：添付調査先作成資料のとおり

### 3 調査の概要

730年（天平2年）1月16日、家持の父の太宰師・大伴旅人の邸宅で唐から渡ってきた美しい花木「梅」を観ながら32首の歌が詠まれたことから「梅花の宴」と称した。（初春の令月にして気淑く風和ぎ この歌の序文から元号「令和」は名づけられ、万葉と令和の物語の始まりとした。）

大伴家持は、746年（天平18年）7月7日国守として越中、現在の富山県に赴任。758年（天平宝宇2年）家持41歳の時に国守として赴任。翌年の正月に因幡の国国府で万葉集の最後を飾る歌を詠んだ。この歌を最後に家持の歌は残されていない。（新しき年の始めの初春の今日降る雪のいや重け吉事）更に家持は、767年（景雲1年）大宰少貳に任じられ、大宰府に赴任する。その後の782年（天応2年）に65歳の家持が多賀城に赴任、784年（延暦3年）天皇の権限を代行する蝦夷征伐の将軍である陸奥の按察使持節征東将軍に任じられ、785年（延暦4年）に多賀城で没しており多賀城とは縁の深い歌人であり政治家でもあります。

この大伴旅人、家持に所縁も深き令和のスタートとして2019年（令和元年）軽井沢G20環境関係閣僚会合「令和の大茶会」開催を皮切りに、2020年（令和2年）には2020年文化庁日本博事業「令和の万葉大茶会東京大会」（多摩川にさらす手作りさらさらに なにそこの児のここだかなしき 東歌）が開催され、昨年の2021年（令和3年）には「令和の万葉大茶会2021高岡大会」（立山に降り置ける雪を 常夏に見れども飽かず神からならし 大伴家持）が開催されており、本年2022年（令和4年）は「令和の万葉大茶会鳥取大会」が以下の通り開催されたのであります。

令和の万葉大茶会「2022鳥取大会」～万葉集編纂者・大伴家持ゆかりの地域を尋ねて～が、今年は鳥取県鳥取市を会場に開催されたのであります。因幡万葉歴史館ではオープニングアウトとして山陰雅楽舎による雅楽の演奏、令和餅のふるまい、中学生による朗読劇の「梅花の宴」の披露、水素で調理した万葉食（ジブリ料理）の提供、歴史館では「憶良と家持」展の開催など、まさに「梅花の宴」が催された。その後、因幡国一の宮、宇部神社においては二十五絃演奏、野点によるお茶会等の「万葉の大茶会」が催され、その後に因幡国庁跡、万葉歌碑等の故地巡りも開催された。

フィナーレとしてホテルニューオータニ鳥取3階 鶴の間において、令和の万葉大茶会2022鳥取大会実行委員長 田中道治様の主催者ご挨拶、鳥取県知事 平井伸治様・鳥取市長深澤義彦様からの歓迎のご挨拶、衆議院議員 石破 茂様・文化庁次長 杉浦久弘様からの来賓祝辞等多くのご来賓御参列の基で記念式典が挙行され、その後に歌人の小島ゆかり様の「スーパー家持」と題しての講演、国土交通省鉄道局次長 平嶋隆司様の「鉄道分野におけるカーボンニュートラルに向けた取り組み」と題してのお二人の基調講演を拝聴させて頂きました。

その後休憩の後に交流会として、鳥取県鳥取市、長野県軽井沢町、東京都調布市、東京都狛江市、富山県高岡市、福岡県太宰府市、そして我が多賀城市は深谷晃祐市長が、そして奈良県明日香村と関係市町村のプレゼンテーションが行われた。クライマックスは、来年の開

催地である太宰府市（太宰府市長）へ鳥取市（鳥取県知事・鳥取市長）から荘厳な佐治漆の装飾の大会キーが手渡され、その後閉会とした。

来年2023年（令和5年）はご案内の通り我が多賀城市とも友好都市を締結しており、多賀城と共に「遠の朝廷」とも呼ばれ数々の歴史の舞台となった大宰府であり、大伴旅人が「梅花の宴」を開いた令和ゆかりの地でもあります。時に家持は13歳、後に梅花の歌を万葉集第五におさめたのであります。（わが園に梅の花散る ひさかたの天より雪の流れ来るかも大友旅人）そして再来年の2024年（令和6年）は大伴家持の終焉の地でもあり、創建1300年を迎え、南門の復元完成等記念事業を迎える多賀城が開催地となるのであり、視察調査の成果を活かし多賀城の更なる発展の大きなチャンスでもあります。（大伴の遠つ神祖の奥つ城は しるく標立て人の知るべく 大伴家持）

そして2025年（令和7年）には7世紀に建設された4時期（飛鳥岡本宮、飛鳥板蓋宮、後飛鳥岡本宮、飛鳥浄御原宮）の遺跡が残り中央集権律令国家の誕生の地であり、「日本人の心の故郷」である奈良県高市郡明日香村が会場となり、更にEXPO2025大阪・関西万博と繋がり「令和の万葉の大茶会」は大きなうねりを創造するのだろう。

私達は2024年に当市に巡ってくる上記の「梅花の宴」「万葉の大茶会」の担当市であり、深谷晃祐多賀城市長、来賓の根本朝栄議長、初代の実行委員長でもあり現在は史都多賀城市万葉まつり実行委員長の加藤則博氏始め実行委員の皆様、多賀城市観光協会の宮城順会長始め会員の皆様、T・A・P多賀城の皆様、そして、当局担当者も前日より会場入りしており、私達は、この事業の意義、多賀城創建1300年記念事業との相乗効果を産み出すには、市民として、議会として、議員としてやるべきことは何なのか？出来ることは何なのか、から学ぶ事になった。限られた日程だったので、当地において15日は「令和の万葉大茶会 2022鳥取大会」の式典・講演会・交流会からの参加とし、参加する事により式典・講演会・交流会からコンセプトやシステムについて事前調査事項と合致し上記報告の通り理解出来たのである。それによって、因幡国庁跡や大伴家持の歌碑等の故地巡りや、因幡万葉歴史館の視察調査については翌日16日午前に変更したことは良い結果をもたらしたのである。前日の様子を伺う中で、日程を変更した結果、国庁跡の保存管理や歌碑についてボランティアガイドの丁寧な説明もしっかりと聴くことが出来たし、因幡万葉歴史館では地元の皆様の朗唱大会も施設内ステージで賑やかに開催されており、ガイダンス施設機能の地域への定着も感じられ、また観光客にも万葉に因んだ文化・歴史も分かり易く展示、発信されており深く知るところとなった。

同日鳥取から高速バスで移動し夕刻には奈良県奈良市へ到着し、奈良県国立博物館へ入館し文化財に係るガイダンス施設の視察を行いました。館内では一部ではあるが撮影の許可をされているもの（仏像 金剛力士像等）もあり記録と記憶に残る展示でした。多賀城創建1300年事業で奈良県国立博物館から借り受ける場合には、撮影可能な展示物も是非お願いしたいと思います。

翌日17日午前中は、予定を変更し、奈良の大仏建立にも関わり、大伴家持にも関連がある聖武天皇、光明皇后の眠る静寂の聖武天皇陵、光明皇后陵にも足を運び視察調査、春日大社、

などの歴史・文化財保存についても学習をして参りました。

多賀城創建1300年を2024年に迎えるにあたり、記念事業に係る事や2024年に担当する令和の万葉大茶会「2024多賀城大会」についての提言に、今回の視察は大きな成果をもたらすことと信じております。

#### 4 所感（今後の市政に資する点）

令和と万葉の物語を紡ぐこの素晴らしい事業には感動を頂きました。また、2024年の担当市でもあり、創建1300年を迎える当市でも、遣り甲斐、生き甲斐をもって新しき世の良いスタートが切れるようにしっかりとおもてなしの準備をしなければとの感慨を持っております。

私達が高速バスで鳥取駅前に到着して感じたことは、県を挙げ、市を挙げての令和の万葉大茶会「2022鳥取大会」の開催であるにも関わらず、外観上の事業の告知についてもほとんど見当たらず、市県民の皆様の認知度には疑問が残りました。

また、この「令和の万葉大茶会」や「梅花の宴に」については、関係市町村の限られた方々の事業に終わらせずに、令和の時代を共に生きる多くの地元の皆様も一緒に参加して頂き、まち全体でもっと大きなうねりにしていかなければならない、とも感じました。

多賀城市においての史都多賀城万葉まつりにおいてもそうであるように、この時代に関しての市民の皆様の興味もそれほど強く感じられず、市民の皆様からの理解や協力も得にくく感じておりましたが、多賀城に造詣も深く、万葉集の編纂にも大きく関わっていた大伴家持の人となりや和歌に関する興味を、歌人の小島ゆかり氏の講演により身近に、分かり易く万葉の世界へと誘われ、とても衝撃的でした。是非多賀城市民の皆様にも小島ゆかり氏の大使家持に関するご講演に触れる機会があれば、更なる万葉の時代が醸成されると思います。

式典・講演会・交流会については、予定時間を1時間も超過をしており内容盛り沢山のご歓待には感謝を申し上げます。

以上、鳥取県鳥取市の関係皆様のおもてなし、特にいなば国府ガイドクラブ村田善治様には故地巡り（因幡国庁跡・歌碑）のご丁寧なご案内やご説明に、また、ご出席関係市町村の皆様、そして奈良県奈良市の皆様に心からの感謝を申し上げ、ここに視察調査の報告といたします。

宮城県多賀城市議会 会派行政視察等 行程表

<研修、調査研究、要請・陳情 用>

会派名「自由民主党多賀城市議団」

■日 程：令和 4年 10 月 15 日(土)～ 10月 17 日(月)

日 程	行 程
<1日目> 10月15日(土)	多賀城市発(自家用車)8:00→仙台空港発9:15(飛行機)→伊丹空港10:35着→(高速バス)11:22→鳥取駅→令和の万葉大茶会受付17:30/式典→19:30/式典終了
	■宿泊：・ホテルニューオータニ鳥取(鳥取県鳥取市今町2丁目153) ☎0857-23-1111
	■調査事項等 1. 鳥取県鳥取市令和の万葉大茶会(開催状況等現地調査)
<2日目> 10月16日(日)	ホテル発8:40(タクシー)因幡万葉歴史館→因幡国庁跡→鳥取駅着10:50→鳥取駅発(高速バス)11:10→大阪梅田駅14:03着→(徒歩)→大阪駅14:28発(大和路快速)→JR奈良駅15:18着(タクシー)奈良国立博物館15:30着見学(タクシー)→ホテル着17:00 ■宿泊：ダイワロイネットホテル奈良 奈良市三条本町11番12号 ☎0742-30-6186
	■調査事項等：①大友家持に所縁のある歴史・文化施設等の現地調査②文化財に係るガイダンス施設の現地調査(因幡万葉歴史博物館)③文化財に係るガイダンス施設の現地調査(奈良国立博物館)
<3日目> 10月17日(月)	ホテル発8:00→聖武天皇陵→光明皇后陵→春日大社→JR奈良駅10:55発(奈良交通バス)→伊丹空港12:20着伊丹空港14:40発(飛行機)→仙台空港15:50着→(自家用車)多賀城市役所16:30着
	■調査事項：1、大友家持に所縁のある歴史遺産の現地調査・友好都市における文化財・施設等の活用保存の現地調査